

CM方式の活用を支援する  
CM方式活用の手引き（案）【改定版】  
2019（平成31）年2月

—正誤表—

p.27 表 2-10 について修正いたします

【誤】

表 2-1 CM方式の導入検討時のVFM検討の例

項 目	VFM算定例
工事期間の 短縮効果	【予定工事価格－予定工事価格×（短縮工事日数／全工事日数）】>CM業務費
	【工事短縮効果（事業便益の早期発現分）※ <sup>1</sup> 】>CM業務費
	【予定工事価格－予定工事価格×（工事遅延日数／全工事日数）】>CM業務費
	【工事延長による事業便益の発現の損失額】>CM業務費
工事費の 縮減効果	【予定工事価格－想定される技術提案による想定価格】>CM業務費
	【想定される工事増額リスク】>CM業務費
	【発注者の増加する人件費】>CM業務費

【正】

表 2-1 CM方式の導入検討時のVFM検討の例

項 目	VFM算定例
工事期間の 短縮効果	【予定工事価格×（短縮工事日数／全工事日数）】>CM業務費
	【工事短縮効果（事業便益の早期発現分）※ <sup>1</sup> 】>CM業務費
	【予定工事価格×（工事遅延日数／全工事日数）】>CM業務費
	【工事延長による事業便益の発現の損失額】>CM業務費
工事費の 縮減効果	【予定工事価格－想定される技術提案による想定価格】>CM業務費
	【想定される工事増額リスク】>CM業務費
	【発注者の増加する人件費】>CM業務費